

NDET (ノートルダム英語検定試験)について

NDET (Notre Dame English Test) は、子どもたちが一定数の英単語や慣用句などを、できるだけ正しい発音で身につけることをねらいとして、2003年度からおこなわれている検定試験です。この改訂教科書では、あらたに「しりとり検定」を加えて特に子音の強化を図ると同時に、従来の慣用句検定に「対話」を盛り込み、実用文の定着も目指してもらおうことができるようにしました。それぞれの検定について以下の通り説明します。

1. 単語検定

(1) 級について

- ・4級、3級、2級、1級の4つのグレードに分かれます。
- ・本校に在学する児童は、3年生の修了までに全員が4級に合格しなければなりません。
- ・飛び級はありません。

(2) 問題について

- ・試験の問題は、この教科書の1ページから36ページにある単語が対象です。
- ・それぞれの写真の下にある文字の色でグレードが区別されています。4級は黒、3級が緑、2級が赤、そして1級が青です。37～44ページには各級の単語がまとめてあります。
- ・問題数は4級～1級の順に、60、80、100、120語です。
- ・単語の選定基準は主に次の通りです。
 - 4級－日常生活で日本語として使っている語や動物など子どもにとって親しみやすい語。
 - 3級－ / f /・ / v / の発音を持つ語を集めました。
 - 2級－ / r / の発音練習が集中的にできるようにしてあります。
 - 1級－ th の音を持つ語のほか、長い語、難しい単語にチャレンジしてもらいます。
- 全体としては、 / p /・ / b /、 / t /・ / d /、 / k /・ / g / という子音を含む語を多く集め、それらの音の獲得を大きなねらいのひとつとしています。

(3) 試験について

- ・オーラルテストで、面接とコンピュータによる一斉の2つの形式でおこなわれます。
- ・面接テストでは、ノート型パソコンの画面にあらわれる教科書と同じ写真を見て、そのことばを英語で発音してもらいます。基本的に1・2・3年生のための試験形式です。
- ・コンピュータ形式の試験は、英語教室のコンピュータのモニタに映る写真を見、マイクに向けて発音します。問題は受験者の一人ひとりについてアランダムに出されます。サーバーに録音された解答は、英語科のスタッフがあとで聞き、採点します。
- ・解答時間は1問につき5秒以内です。
- ・次の正答数以上で合格です。4級が57問、3級が76問、2級が95問、1級が114問。
- ・単語のストレス(強勢)と英語特有の発音については、日常の授業でも指導をしますが、検定試験では厳しくは問いません。しかし、いくら正解に近くとも、それが異なる意味を持つ場合は誤答とみなします。例) desk → disk

2. 慣用句・対話検定

- ・この検定は単語検定の3級以上の合格者しか受けられません。
- ・57～64ページのABC イディオムズ75句と30の対話が問題の対象です。面接形式です。
- ・ABCイディオムズからは15問出題されます。パソコンの画面の日本語を見て英語で言います。
- ・対話からも15問出されます。面接官の発話に対し、教科書の緑字のことばで応えます。
- ・級の区別はありません。解答時間は5秒以内。27問以上の正解で合格です。